

日本内装材連合会 第59回全国大会

5月23日と24日の二日間東京で開催 全国から113名が参加

日本内装材連合会第59回全国大会が5月23日24日の両日、ホテル インターコンチネンタル東京ベイにて開催され、全国から113人が参加した。開催担当は東京内装材料協同組合。

全国大会では平成24年度事業、決算・監査報告、25年度事業・収支予算並びに会長及び監事選任の件が行われた。選出された篠田新会長は、副会長に池田修治氏(大阪組合)、笠井市造氏(東京組合)、会計担当理事に山田俊之氏(東京組合)を委嘱した。

全国大会は池田副会長の開会のことばで始まった。

「昨年、神戸の大会では大変お世話になりましたので、一言お礼を言いたいと思い」旨、挨拶した。



続いて主催地区代表挨拶として篠田副会長が「本日は何かとお忙しい中、ご参集いただき、ありがとうございます。今回の大会では基本的な考え方は全国の皆様のおもてなしをいかに行き、お喜びいただけるか、ということでしたが、東京組合の委員各位が熱心にご努力賜り今日にこぎつけることができました。今日明日二日間にわたり、いろいろな行事にご協力いただくこととなりますが、幸い、天気には恵まれ、初夏の陽気で清々しい日が過ごせそうでございます。どうぞ皆様楽しい時間をお過ごし下さいますようお願い申し上げます。とは申しましても、企画から運営まで素人が行いましたことで、行き届かない点がままあることと存じますが、ご容赦いただければ幸いです」と挨拶をした。

続いて、佐竹会長は「お忙しいおり、総会にご参加いただき、誠にありがとうございます。東京では方々で祭りが行われる季節でございます。私の住まいの神田明神も4年に一度のお祭りが行われました。

本来一昨年が祭りの年でありましたが、2年前の東日本大震災で先延ばしされていたものでございます。東北の復興と、全国の業界各位のご隆盛をお祈り申し上げ、あわせてご出席の皆様の一層のご発展も祈念致します。本日はこれからいろいろと企画もございますし、また、ご審議いただく議題も5号議案までございます。何卒ご審議たまわり、併せて、有意義な楽しい時間をお過ごし下さいますようお願い申し上げます」と挨拶を行った。

物故者への黙祷の後、佐竹会長を議長に選出、議決報告に入った。

池田副会長が平成24年度事業報告、山田会計相当理事が決算報告、日比監事が監査報告を行った。

そのほか、篠田副会長が平成25年度事業計画、杉山理事が収支予算を報告した。会長及び監事選任の件。

25年度事業は防火壁装施工管理業務に関する事業、襖紙シックハウス対策等に関する事業、普及広報委員等。

篠田新会長は「佐竹会長は長きにわたり、日本内装材連合会の会長を務められありがとうございます。この場をかりて、お礼を申し上げます。不肖私に会長が勤まるか、不安な気持ちであります。地区を代表している方々のお力添えをいただきながら、緊張感を持って、内装連の事業にも取り組んで参ります」旨、話された。

内装連全国大会来年は九州で

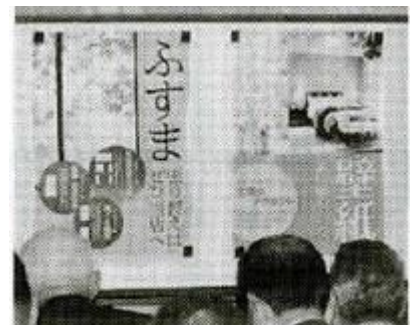
第60回全国大会担当の佐藤理事は「来年の第60回大会は5月22、23日となります。ゴルフ組と観光組に分かれて九州新幹線で熊本城、水前寺公園等、クマもんのお土産コーナーを見てまわれるなど」楽しい企画が練られています。

PRポスター今年もふすまのぼり申込書

襖広報委員会の尾関副委員長は「本年度もPR用のぼりの申込書を入れさせてもらっていますのでよろしく願いいたします」旨、話した。

東京組合ポスター壁紙と襖紙の2種類

東京組合宇野PR委員長より「今年のポスターコンセプト、襖は機能と装飾一体となって高級な和テイストなる。壁紙は大きな要素、大胆でそのものを演出できる。部屋の一部を変えるだけでも斬新になれる。さらに自分の店の気づきにも結びつく」旨、話された。



閉会挨拶

北海道組合の富田です。全国大会の開催にご尽力くださった皆様にお礼申し上げます。お陰様で第59回全国大会は滞りなく終了することができました。ここに大会の閉会を宣言いたします。

壁装新聞第(399号)より引用